



学校だより

第1号

令和6年4月15日発行
小金井市立小金井第二中学校
校長 清水 裕径

HPアドレス <https://dai2-js.koganei.ed.jp/>

「自他を認め、支え合う生徒」

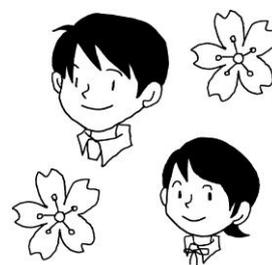
校長 清水 裕径

令和6年度が始まりました。3年生の皆さんにとっては、義務教育最後の「集大成の1年」、2年生の皆さんにとっては、二中の中心を引き継ぐ「発展の1年」、1年生の皆さんにとっては、中学生としての「始まりの1年」となります。生徒の皆さんは、それぞれの思いをもって新年度を迎えていることでしょう。

今回は、年度の初めの回でもあるので、二中の「教育目標」について書きます（2・3年生には、始業式のときにお話した内容と同じです）。二中の「教育目標」は、各教室の黒板の上に掲示してありますので、生徒の皆さんはよく目にしていると思います。

「社会の一員として自覚を高め、豊かな創造力と実践力をもった人間の育成を目指して」という目標のもと、「こんな中学生になってほしい」という3つの柱があります。

- 自他を認め、支えあう生徒
- すすんで学び、考え、行動する生徒
- 心身を鍛え、たくましく生きる生徒



どれも大事な柱なのですが、今回は1つ目の「自他を認め、支えあう生徒」について、書いていきたいと思えます。

「自他を認め」ということは、まずは「自」つまり「自分」を認めようということになります。実はこれが一番難しいことだと私は思っていて、自分のこととなると、とかく「苦手なこと」や「できないこと」に注目してしまいがちです。今後の成長のためには、自分の課題をしっかりと把握して、改善に向けて取り組むことも大事なのですが、成長して前に進んでいくためには、自分の良さや可能性を知り「やれる!」という自信をもつことが、とても重要になります。二中では、これまで学習活動だけでなく、学校行事や生徒会活動、部活動など、学校生活の中で様々なことに積極的に取り組み、成果を上げてきたと聞いています。今年度も自分に自信をもって積極的にチャレンジし、さらに成長できる1年にしてほしいと思います。

また、自他の「他」は、他者を認めようということです。自分と同じように、周りの人たちにも、それぞれ良さや可能性があります。それは自分と同じかもしれないし、自分とは違ったものをもっているかもしれません。自分にはない、他者の良いところを認め合い、共有することで、互いにさらに成長する可能性が高まってきます。二中全体で成長できるように「お互いに認め合う」ことも大切にしてほしいと思います。

私が小金井二中に着任して、中学生の皆さんに一番大切にしてほしいと考えていたことが、この教育目標の柱に凝縮されていたので、今年度の初めに書かせていただきました。今年一年、みんなで一歩ずつ成長する、そのような二中にしていきたいと考えています。



< 学校の情報について >



今年度も学校ホームページを充実させていきます。すでに始業式・入学式等の様子は写真を含めて掲載しているところです。学校だより・給食の様子・緊急時の対応や困ったときの相談先（生徒向け・保護者向け）についても掲載しております。どうぞご覧になってください。アドレスにつきましては学校だよりの表題部分に掲載しております。

